

基本目標 4 生涯を通じた健康な暮らしづくり

施策の方針 4-1 男女の性を共に理解・尊重する意識の浸透

推進施策42 リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康・権利）の理念の普及 〔文化市民局, 保健福祉局〕

◆母性保護普及事業の充実

事業名(所管課)	事業概要	平成19年度実績
新生児訪問 (保健福祉局 健康増進課)	生後28日以内の新生児とその母親への保健師等による育児に必要な保健指導等の実施	新生児訪問 実人員 ⑱3,432人→⑲3,467人 延人員 ⑱3,530人→⑲3,598人
(参照) 推進施策57 男女共同参画を進める人材の育成		

推進施策43 性に関する情報提供・相談の充実〔保健福祉局〕

◆性感染症・HIV（エイズ）の予防・相談

○性感染症・HIV（エイズ）の検査体制の充実

◆不妊相談体制の整備

性感染症等の予防・相談 (保健福祉局 地域医療課)	性感染症やエイズについての予防知識の普及啓発	京都市内全高等学校・全大学・全短大にパンフレットを一学年配布
性感染症・HIV（エイズ）の検査体制の充実 (保健福祉局 健康増進課)	HIVや性感染症について不安のある方に対し、相談及び検査を実施 保健所での検査 毎週1回（HIV、性感染症検査） 夜間即日検査 毎月第2、第4木曜日（HIV検査のみ） 土曜検査 毎月第1、第3土曜日（HIV検査のみ）	相談件数 385件 HIV検査 2,674件 性感染症検査 梅毒 1,762件 淋菌 1,694件 クラミジア 1,694件 肝炎 1,786件
(参照) 推進施策15 企業等における男女雇用機会均等対策の促進		

推進施策44 人権尊重の精神に基づく性教育の推進〔教育委員会〕

◆性教育指導資料の活用

○学校におけるエイズに関する教育の推進

性教育指導資料の活用 (教育委員会 体育健康教育室)	H14年4月に性教育指導のための「学校・園における性教育・エイズ教育指導資料」を発行	◇各校・園において、この指導資料に基づいた指導を継続 ◇エイズに関する「保護者・教員用」及び「若者用」の啓発パンフレットを作成し、市立学校の全教員及び児童生徒等に配布
学校におけるエイズに関する教育の推進 (教育委員会 体育健康教育室)	授業研修会を実施し、 (1)児童生徒にエイズについての正しい認識を持たせる。 (2)人権尊重の観点に立ったエイズ教育を推進する。 (3)児童・生徒が生命尊重や人間尊重、男女平等の精神に基づき、望ましい行動がとれるエイズ教育の系統的な指導体制を確立する。	◇各校において、「性教育・エイズ教育指導資料」等を活用した校内研修や性教育・エイズ教育の取組を年間計画に位置付け、実践した。 ◇文部科学省の委託事業である「性教育の指導に関する実践推進事業」を実施し、教職員等への研修会の開催等を通じて、発達段階に応じた効果的な指導方法を教職員等へ指導する指導者の育成を行った。

施策の方針 4-2 母と子の健康を守る保健医療等の推進

推進施策45 妊娠・出産期における女性の健康管理の支援〔文化市民局，保健福祉局〕

- ◆母子健康手帳の交付
- ◆妊婦健康診査・保健指導の充実
- ◆妊産婦健康相談の充実
- ◆B型肝炎母子感染症防止事業の実施
- ◆風しん血清抗体検査の実施
- ◆妊娠中からの子育て支援教室の充実，「お父さんの育児ノート（父子手帳）」の交付
- ◆妊婦栄養教室の開催
- ◆妊娠中毒症訪問指導の充実

○プレママ支援事業の実施

事業名(所管課)	事業概要	平成19年度実績
母子健康手帳 (保健福祉局 健康増進課)	保健所・支所で母子健康手帳，副読本及び予防接種受診券綴を交付	交付数 ⑱12,626冊→⑲12,702冊
妊婦健康診査 (保健福祉局 健康増進課)	妊婦健康診査受診券及び出産予定日に35歳以上の妊婦への超音波検査受診券の交付	◇受診券交付枚数 一般 ⑱12,649枚→⑲12,712枚 超音波 ⑱2,606枚→⑲2,816枚 ◇受診件数 一般 ⑱11,785件→⑲11,759件 超音波 ⑱2,076件→⑲2,196件
妊産婦健康相談 (保健福祉局 健康増進課)	妊産婦の血圧測定，保健指導，栄養指導の他，貧血，尿，血液型判定検査等の実施	貧血検査受検者数 ⑱256人→⑲133人 尿検査受検者数 ⑱172人→⑲84人 血液型検査受検者数 ⑱6人→⑲4人
B型肝炎母子感染防止事業 (保健福祉局 健康増進課)	HBs抗原検査を妊婦が無料受診できる制度	受診件数 ⑱11,038人→⑲10,705人
風しん血清抗体検査 (保健福祉局 地域医療課)	風しん予防対策の一環として血清抗体測定，及び抗体未保有者に対して感染防止指導を実施	検査件数 ⑱9件→⑲1件
妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）対策 (保健福祉局 健康増進課)	母子健康手帳の「妊娠高血圧症候群（妊娠中毒症）（疑）連絡票」によって届け出た妊産婦に対し，保健師が訪問指導を実施	実人員 ⑱6人→⑲29人 延人員 ⑱6人→⑲35人
プレママ支援事業 (保健福祉局 健康増進課)	妊婦の方に対する社会的配慮を普及啓発するため，母子手帳とともにプレママバッチを交付	交付数 ⑱12,626個→⑲12,702個
(参照) 推進施策47 乳幼児のすこやかな発育・発達の支援		

推進施策46 安心して出産できる医療環境の整備〔保健福祉局〕

◆総合周産期母子医療センターへの支援

◆助産制度の充実

総合周産期母子医療センター運営助成 (保健福祉局 地域医療課)	「総合周産期母子医療センター」運営により生じる赤字額の一部を京都第一赤十字病院に対して助成	延べ患者数 ⑱12,388人→⑲13,779人 患者数 ⑱416人→⑲499人
-------------------------------------------	-----------------------------------------------	--------------------------------------------------

推進施策47 乳幼児のすこやかな発育・発達の支援〔保健福祉局, 消防局, 教育委員会〕

◆乳幼児健康診査の実施

◆新生児訪問指導, 未熟児養育指導, 乳幼児健康相談の充実

◆乳幼児栄養教室, 乳児保健教室, 子育て教室の開催

◆<再掲>乳幼児医療費助成制度の拡充(⇒推進施策33)

○京(みやこ)あんしんこども館やこどもみらい館等における取組の推進

○乳幼児関係者に対する救命講習の実施

乳幼児健康診査 1歳6か月児健康診査 3歳児健康診査 (保健福祉局 健康増進課)	生後3~4か月, 7~8か月, 1歳6か月, 3歳3か月の乳幼児を対象に, 健康診査, 保健指導を実施 <目標値> 1歳6か月児健康診査(受診率) 97%(H21年度)	4か月児健康診査 ⑱11,306人→⑲11,148人 8か月児健康診査 ⑱10,880人→⑲10,967人 1歳6か月児健康診査 ⑱10,790人→⑲11,089人 (受診率⑱93.1%→⑲94.7%) 3歳児健康診査 ⑱10,638人→⑲10,500人
新生児訪問 未熟児養育指導 乳幼児健康相談 (保健福祉局 健康増進課)	新生児とその母親を保健師等が訪問し, 育児に必要な保健指導等を実施	新生児訪問 実人員 ⑱3,432人→⑲3,467人 延人員 ⑱3,530人→⑲3,598人 未熟児養育指導 実人員 ⑱633人→⑲663人 延人員 ⑱674人→⑲717人
乳幼児歯科相談 (保健福祉局 健康増進課)	0歳から就学前の乳幼児を対象に 歯科健診や相談・指導を実施	実施回数 ⑱84回→⑲84回 相談人数 ⑱559人→⑲623人
すくすく子育てサポート事業 (保健福祉局 健康増進課)	妊産婦への支援として, 妊娠期の方と育児経験のある方との交流や, 妊娠中の食生活等の講習等の実施。また, 乳幼児と保護者を対象に, 家庭での怪我や病気の応急処置, 離乳食・幼児食についての講話等を実施 (H19年度から, 妊婦栄養教室, 親子の心の健康支援教室等を再編)	(講座回数, 参加者) ⑲836回, 12,043組
子どもの部屋 ふれあい広場の開催 (文化市民局 男女共同参画推進課)	ウィングス京都において, 乳幼児とその保護者を対象に, 親子で一緒に楽しむ集い	開催回数, 参加者数(うち子ども) ⑱12回, 242人(120人) →⑲12回, 225人(115人)
乳幼児関係者に対する救命講習の実施 (消防局 救急課)	乳幼児が事故等により呼吸や心臓が止まった時, 救急車が到着するまでの間に, そばに居合わせた人による応急手当が実施できるよう心肺蘇生法等の救命講習を実施	対象 乳幼児の保護者や保育園・幼稚園関係者, ファミリーサポートセンター等と連携 実績 ⑱29回→⑲46回 ⑱696人→⑲974人
(参照) 推進施策32 地域における子育て支援の充実		

推進施策48 子どもの病気や事故に的確に対応できる体制の充実〔保健福祉局〕

- ◆小児救急医療体制の充実
- ◆京（みやこ）あんしんこども館における取組の推進

京都市休日急病診療所の運営 (保健福祉局 地域医療課)	市内6か所に休日急病診療所を設置(小児科, 内科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 歯科)	延べ患者数 ◇小児科 ⑱21,477人→⑲18,137人 ◇内科 ⑱2,936人→⑲2,714人 ◇眼科 ⑱4,851人→⑲4,676人 ◇耳鼻咽喉科 ⑱5,816人→⑲5,849人 ◇歯科 ⑱3,611人→⑲3,577人
子ども保健医療相談・事故防止センターの運営 (保健福祉局 健康増進課)	子どもたちの疾病や成長といった育児における悩みや不安について小児科医等による保健医療相談や, モデルルーム等を活用した子どもの事故防止の普及・啓発等を実施	来館者数 ⑱2,514人→⑲3,160人 相談件数 ⑱1,106件→⑲1,219件 講習会 ⑱8回→⑲8回

施策の方針4-3 男女の心とからだの健康づくりの支援

推進施策49 女性に特有な病気の予防対策の充実〔文化市民局, 保健福祉局〕

- ◆乳がん・子宮がん検診の実施
- ◆骨粗しょう症予防健康診査の実施
- 乳がん啓発活動の実施

事業名(所管課)	事業概要	平成19年度実績
乳がん検診 子宮がん検診 (保健福祉局 健康増進課)	勤務先等で検診を受けられない30歳以上の女性(ただし, 子宮がん検診は20歳以上)を対象に検診を実施(受診間隔は2年に1回)	受診者数 ◇乳がん検診 ⑱15,608人→⑲19,533人<速報値> ◇子宮がん検診 ⑱13,772人→⑲14,503人<速報値>
骨粗しょう症予防健康診査の実施 (保健福祉局 健康増進課)	骨粗しょう症予防健康診査及び正しい知識の普及・啓発活動の実施	受診人員 ⑱1,642人→⑲1,446人 (内訳) 女性 ⑱1,554人→⑲1,402人 男性 ⑱88人→⑲44人 正常 ⑱1,162人(70.8%) →⑲1,030人(71.2%) 要注意域 ⑱376人(22.9%) →⑲333人(23.0%) 要医療域 ⑱104人(6.3%) →⑲83人(5.7%)

推進施策50 生活習慣の改善等による女性の健康づくりの推進〔保健福祉局〕

◆＜再掲＞女性健康診査の実施，女性健康手帳の交付（⇒推進施策26）

◆健康づくりゼミナールの開催

○受動喫煙防止対策の普及促進

ウェストスリムクラブの開催 (保健福祉局 健康増進課)	生活習慣の見直し改善，生活習慣病予防のための基礎的な学習と具体的運動体験をする講座	コース数 ⑱15コース→⑲14コース 受講者 実数 ⑱187人→⑲144人 延べ人数 ⑱937人→⑲992人
受動喫煙防止対策の普及促進 (保健福祉局 健康増進課)	京都市たばこ対策行動指針の周知及び普及啓発。 多くの人が集まる施設等に禁煙及び分煙の働きかけを強化する。	「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」のポスター配布施設数 ⑱67施設→⑲67施設

推進施策51 ライフステージに応じた男女の健康の保持・増進〔文化市民局，保健福祉局〕

◆更年期に関する相談等の充実

◆こころの健康相談の充実

○女性外来や男性外来のニーズへの対応

こころの健康増進センターでの相談事業 (保健福祉局 こころの健康増進センター)	医師，心理士，精神保健福祉士，精神保健福祉相談員等による相談（来所又は電話）	相談件数（電話相談，医師相談を含む） 男性 ⑱1,638件→⑲1,717件 女性 ⑱2,235件→⑲1,905件 不明 ⑱19件→⑲174件
女性総合外来，男性専門外来の実施 (保健福祉局 市立病院)	(1)女性総合外来 女性の健康に関する不安，悩みについて，女性スタッフのみで対応 (2)男性専門外来 男性更年期障害，排尿障害等の疾患について，男性泌尿器科医師を中心に対応	(1)女性総合外来 ⑲142人 (2)男性専門外来 ⑲54人
(参照) 推進施策60 男女の様々な悩みを解決するための相談体制の充実		

推進施策52 スポーツ・レクリエーション活動を通じた男女の健康づくりへの支援〔文化市民局，教育委員会〕

◆スポーツ教室，スポーツ講習会の再編・充実

◆スポーツボランティア，リーダーの育成

◆健康増進講座の充実

◆学校体育施設の開放推進

スポーツ教室の開催 (文化市民局 スポーツ企画課， (財)京都市体育協会)	(財)京都市体育協会加盟競技団体による初心者を対象とした教室のほか，ミズノ株式会社のサポートを受けて種目別・上達度別スポーツ教室を開催	延べ種目数 ⑱12→⑲26 延べ教室数 ⑱23→⑲77 延べ受講者数 ⑱407人→⑲1,016人 (内訳) テニス(3種目)9回，228人/居合道2回，17人/弓道1回，23人/ハントホール1回，22人/アーチェリー2回，50人/太極拳1回，11人/ターゲット・バードゴルフ1回，7人/合気道1回，11人/スキー1回，16人/ヨガ(3種目)10回，193人/卓球(5種目)23回，163人/バドミントン(4種目)21回，252人/ニュースポーツ塾GoGoクラブ1回，5人/健康スポーツ教室2回，15人/ラケット3種目教室1回，3人
----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>スポーツ講習会の実施</p> <p>(文化市民局 スポーツ振興課)</p>	<p>地域に根差したスポーツ活動の拠点である地域体育館において、地域の体育指導委員が中心となり、初心者向きのスポーツ講習会を実施</p> <p>(注)右欄 スポーツ講習会内訳は「地域体育館」を略(東山=東山地域体育館, 以下同じ)</p>	<p>延べ種目数 ⑬9→⑭9 延べ教室数 ⑬171→⑭160 延べ受講者数 ⑬2,529人→⑭2,498人</p> <p>(内訳) 東山 4種目12教室, 170人/山科 3種目32教室, 461人/市民スポーツ会館 2種目24教室, 412人/桂川 4種目44教室, 919人/伏見北堀公園 4種目24教室, 211人/醍醐 4種目24教室, 325人</p>
<p>スポーツボランティア, リーダーの育成</p> <p>(文化市民局 スポーツ振興課)</p>	<p>スポーツの楽しみ方やスポーツによる交流のコーディネートなど、多面的にスポーツ活動への支援ができる体育指導委員をはじめとしたスポーツボランティアの多様な能力の開発支援を行うとともに、大学のまち・京都の特性を生かし、大学と連携し、学生など意欲ある人のスポーツボランティアとしての参加を促進する。</p>	<p>◇京都シティハーフマラソンや市民スポーツフェスティバル等の京都市主催事業において、体育指導委員が運営に参加 ◇京都シティハーフマラソンでは一般公募のボランティアが数多く活躍 ◇スポーツリーダーとしての資質向上のため、体育指導委員に対し各種講習会を実施 ◇全京都大学野球トーナメント大会には、数多くの学生ボランティアが運営スタッフとして参加</p>
<p>(財)京都市女性協会 「健康増進事業」</p> <p>(文化市民局 男女共同参画推進課, (財)京都市女性協会)</p>	<p>こころと体の健康づくりを支援する各種講座の開催</p>	<p>講座数, 参加者実数 ◇運動講座 (エアロビクスほか) ⑬20講座, 762人 →⑭22講座, 835人 ◇ゴスペル・愛唱歌等 ⑬9講座, 299人→⑭9講座, 331人 ◇メイク講座 ⑬1講座, 24人→⑭4講座, 142人</p>
<p>学校体育施設開放事業</p> <p>(教育委員会 体育健康教育室)</p>	<p>児童・生徒の遊び場の確保と校区民のスポーツ活動推進のため、体育施設を開放</p>	<p>開放校数 ⑬246校→⑭240校 延べ開放日数 ⑬74,784日→⑭72,603日 延べ利用人数 ⑬1,409,614人→⑭1,479,558人</p>